

いけごいせきぐん

池子遺跡群

(逗子市No.140遺跡)

調査期間 20080816～20090115

所在地 逗子市米海軍池子住宅地区及び海軍補助施設内

時代 縄文
弥生
平安
中世
近世以降



作成日:20080825 更新:20090515

概要

本遺跡の調査は、南関東防衛局による池子米軍小学校新設事業に伴う発掘調査です。遺跡は京浜急行線神武寺駅の西側にあり、池子川の流域に発達した低地と、その周囲の崖面にあります。1989年～1994年には池子米軍家族住宅建設に伴う調査が行われましたが、今回は住宅建設時の調査地点の北側を調査しました。標高は約13～19m。調査面積は全体で約13,000㎡あります。調査は2006年から断続的に行っており、今年は8月から1月まで調査を行いました。

今までの調査では近世以降、平安時代、古墳時代の遺構、中世や縄文時代の遺物などが出土しています。近世以降では杭列が25条程度発見され、水田などの水を使った耕作関連の遺構の可能性が考えられました。平安時代では溝状遺構(川の跡)や杭列を打った遺構が発見され、当地の開発が古く溯ることがわかりました。古墳時代では溝状遺構(川の跡)や土器の廃棄場が発見されました。縄文時代では土器が出土しました。



▲杭列 近世以降



▲杭列 平安時代



▲溝状遺構 古墳時代